

【補足】記号について

N……ナレーション

M……その人物のモノローグ（独白）、アプリでの書き込み

セリフの中にある括弧書き……心情や状況についての補足

登場人物と設定

- **アユ** 中2女。中学で同じクラスになったカエデ・ミュキとともに仲が良く、いつも一緒にいる。3人は同じクラス。岡田さんと付き合っていることを黙っていたが、意を決して2人に告白する。3人の中では特に目立ったキャラではない。

- **カエデ** 中2女。アユの告白にとまどう。3人の関係が壊れるのが怖くなり（嫉妬もあり）、アユに対する不満を言う。どちらかというと、3人の中では自分の主張をするタイプ。

- **ミュキ** 中2女。カエデの不満を聞き、よかれと思ってスクショをアユに送る。どちらかというと、ムードメーカー的なタイプ。思いついたらすぐ行動することが多い。

- **岡田くん** 中2男。テニス部のエース。やさしい性格で、男女ともに慕われている。3人とは別のクラス。

1コマ目 ある日の3人の様子。

N 中学生のアユ、カエデ、ミュキは、いつもいっしょに過ごしています。休日も、毎週のように3人で出かけます。

アユ ねえねえ、こないだのケーキ、すごくおいしかったよね。また行きたいな。

カエデ・ミュキ ねー！

カエデ  
ミユキ

あ、そうだ！ 次の日曜日は、カラオケ行こうよ！  
いいねー、カラオケ久しぶりー！ 楽しみー

N

今日もまた、3人で遊びに行こうと話をしています。  
そのとき…

2コマ目 岡田くんを見かけて盛り上がる2人と、気まずいアユ。

S  
E

(足音)

ミユキ  
カエデ

あつ、岡田くんだ！ かつこいいー。  
ねー。あんなにかっこいいのに、すっごく優しいんだっ  
てー。素敵ー。

(この段階では、アユのことは知らない)

N

3人の横を通り過ぎたのは、隣のクラスの岡田くん。テ  
ニス部のエースで、みんなから慕われている、人気者で  
す。

ミユキ  
カエデ

なんか！ 岡田くん、最近彼女ができたって噂だよー。  
えー、ほんとにー！

N

盛り上がるカエデとミユキの横で、なぜかアユはひと  
り、気まずい様子。その理由は…。

アユ  
M

あー…。実は「それ」私なんだよね…。ちょっと前に、岡田くんにご告白されて…。ミユキとカエデには、言うタイミングがなくなっ…。

カエ  
デ

でもさ、こちらはさ、今は彼氏つくるーとかじゃなく、3人で一緒にいられたらいいよね！

ミユ  
キ

そうだね！

（まだアユのことは知らないため、アユに対するメッセージではなく、素朴に仲良くしようと言っている。）

アユ  
M

ああ、気まずいなあ…。どうしよう…。

3コマ目 アユの告白。

N

その日の下校時間。

カエ  
デ

今日は部活もないし、3人で一緒に帰ろうよ！

ミユ  
キ

そうだね。

アユ  
M

え、どうしよう。今日は部活がないから、岡田くんと帰ろうって約束してたんだ…。

うーん…。よし、もう、言うしかないっか…！

（岡田くんのことを言うのははばかれるが、黙っているのもつらかった。言いづらいが、よいタイミングと感じた。）

アユ  
あの、さ、実は私…。

(細かい話は、省略する。)

N  
アユは岡田くんとのことを、2人に告白しました。

ミユキ  
えー！ そうだったの！ なんだー言ってよー！

すごいじゃん！ アユおめでとうー！

アユ  
あ、う、うん。ありがとう。

ミユキ  
私たちも嬉しいよ！ ね、カエデ？

カエデ  
え、あ？ う、うん…。アユ、おめでとう…。

(ミユキは、素直に「おめでとう」と思っている。カエデは、突然のことですごく困惑している。)

4コマ目 その日の夜。カエデのもやもや。

N  
その日の夜。

カエデからミユキに、メッセージが届きました。

※メッセージアプリでの書き込みをモノローグ的に読み上げる。

1項目(・)が1回のメッセージ送信。

カエデM  
・アユと岡田くん

・どう思った？

ミユキM  
・アユちゃんうれしそうだった

カエデM  
・なにも相談なかったよね

・なんだかなー

ミユキ M

・まあとつぜんだったね

カエデ M

・うちらずつといっしょだったのに

・なにも教えてくれなかった

・つきあってたなんてなー

・ないわー

ミユキ M

・たしかにねー

ミユキ M

あれ？ カエデ、どうしたんだろ？ もしかして、なん

か、怒ってる？ えー、これじゃ私たちまずいじゃん！

あーどうしようー。

んー、そうだ！ とにかくアユに伝えなきゃ！ 大丈夫

夫！ 私がなんとかするー！

（思い立ったらすぐ行動する性格。その後のことはよく考えていないが、とにかくアユに伝えなければと思った。本当に何度かしたいと思っている。）

5コマ目 ミユキがアユにスクショを送る。

N

ミユキは、アユにメッセージを送りました。

※メッセージアプリでの書き込みをモノローグ的に読み上げ

1項目（・）が1回のメッセージ送信。

ミユキ M

・ねえこれ

「画像 カエデとのやりとりのスクショ」

・カエデがいった

アユ  
M

- ・でも
  - ・うちらがずっといつしよなのは変わらないよね！
  - ・なんとかするね
  - ・そうなんだ…
  - ・教えてくれてありがとう
- （ミユキはいざこざを解決しようとポジティブな気持ち。アユは、カエデが不満をもっていることにも、ミユキがわざわざ伝えてきたことにも、困惑している）

6 コマ目 次の日。微妙な空気の3人。

N  
そして、次の日。

3人は、いつものようにおしゃべりをしています。  
しかし…

アユ  
M

カエデ…岡田くんのことは何も言わないけど、やっぱり怒ってるのかなあ…。  
ミユキ、どうしてわざわざスクショ送ったんだろう。ミユキ、どうしたいの？ …何考えているのかわかんないよ…。  
2人とも、岡田くんの話はしないし…。なんかびみょうな空気…。あー、私、これから、どうしたらいいんだろう。